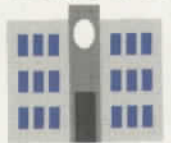


さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和2年度 第2号 (6/3, 4)
発行責任者：校長 古正栄司
一色小学校：0463-71-1543



夏休み2回分にもなる、約3か月に及ぶ長期の臨時休校となってしまいました。子どもたちがいない学校は、無機質で何とも物寂しい感じでした。保護者の皆さんや子どもたちにとっては、どんな3か月間だったのでしょうか。退屈や我慢、ストレスなど辛いことも多かったでしょうが、私は「何年振りかで子どもとじっくり向き合える、貴重な時間でした」「子ども連れて職場に出勤し、子どもによる『職場参観』をしました。親子共々、こんなことでもなければできない良い経験になりました。」など、良かった事例も耳にしました。3か月にわたる休校期間中の学校に対するご理解ご協力、本当にありがとうございました。学校再開に向けた旗振りの準備や学校環境整備、子どもサポートなどでは、保護者の皆様や地域の方々、おやじの会の方々など、たくさんの方々に支えられて学校再開を無事に迎えることができました。本当にありがとうございました。「分散登校」のため、全員が集まるのは4週間後ですが、とにもかくにも、校舎に子どもの声が響き渡る嬉しさを噛みしめた6月1日・2日でした。



夏休みはどうなるの？

教育委員会から配られた「お知らせ」に記述がありましたように、以下の通りです。



夏休み期間：8月1日(土)から8月17日(月)

※夏休みの課題については、配慮・工夫をします。

2学期始業：8月18日(火)

※給食は翌19日から始まります。

延期になった学校行事はどうなるの？

- | | | |
|---------------|---|-----------------------|
| ◇授業参観・懇談会 | → | 三密を避けるため、1学期中は実施しません。 |
| ◇家庭訪問 | → | 今年度は中止(6月中に教育相談日を設定) |
| ◇遠足 | → | 2学期に実施予定 |
| ◇修学旅行 | → | 3学期に実施予定 |
| ◇運動会 | → | 2学期に実施予定 |
| ◇幼保小中一斉引き取り訓練 | → | 今年度は中止 |
| ◇各種健康診断 | → | 2学期に実施予定 |



※いずれも、今後の状況次第です。

2学期以降の学校行事につきましては、今後お知らせします。いずれにしても、規模の縮小や時間の短縮等感染症予防・拡大防止策を講じた上での実施になると思われます。

あっ地震だ！ 震度5(ゴ)で引き取りにゴー！ と覚えてください！

大きな地震の場合もそうですが、緊急時に引き取りをお願いすることがあるので、毎年、なるべく早い時期に引き取り訓練を実施しているのですが、今年度は実施できていません。そこで、休日などを利用してお子さんと一緒に通学路を歩いてみて、



「ここで大きな地震が起きたら、何が危ないと思う？」「この橋が渡れなくなったら、どうしたらいいと思う？」のように、一方的に教えることなく、考えさせながら安全点検をしてみてください。

ちなみに、震度5以上の地震発生以外にも、近隣で銃器や刃物を使って強盗事件を起こした容疑者が二宮方面に逃走したとか、悪天候や川の氾濫が予想されるときい場合にも引き取りをお願いする場合があります。その場合、小学校だけでなく幼稚園・保育園、中学校でも引き取りになる可能性があります。複数お子さんがいらっしゃる場合は、引き取る順番も考えなくてはなりません。

・どの順にどのルートを通して引き取りに行こうか。

・倒れてきそうな建築物や電線、橋などを考えると、どのルートが比較的安全だろうか。

などについても考える機会にしてみてください。

コミュニティ・スクールの今日この頃

2月末と4月下旬に予定していた学校運営協議会が続けて開催できていません。学校運営協議会長さんとはある程度情報共有・連携ができてはいるのですが、実質的には推進できていません。今後、学校だより等で内容をお伝えしてまいります。



マチコミ・メールの受信はできていますか？

先日は、マチコミメール受信の調査へのご協力、ありがとうございました。現時点では問題なく受信できていても、機種変更をしたりすると、気が付かないうちに受信できなくなってしまっているという声をよく耳にします。

毎月1日の夕方、受信状況確認のために、マチコミ・メールのテストメールが配信されています。このテストメールが受信できていない方は、①再度設定する、②学校に相談する、いずれかの対応をお願いします。大切なお知らせについてはプリントも併用しますが、不審者情報や登下校に関わる変更やお知らせなど、速やかにお伝えしたい連絡もあります。どうぞ毎月、受信状況をご確認ください。



マチコミメール・学校ホームページ・ネット動画配信・

臨時休校の長期化に伴って、教育関連テレビネット配信、授業やホームルームの動画配信など急進に進みました。ベンチャーをはじめ家庭などと比べると、公立学校のICT環境の格差も大きい状況です。



番組の充実と利活用、動画や課題・資料の遠隔・オンライン教育、学習ログの活用とした民間企業、大学や私立学校、各整備はまだ遅れており、自治体間の

国は令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務だとしています(2019年12月、「GIGAスクール構想」)。具体的には、児童生徒1人1台端末と高速大容量通信ネットワークの整備などにより、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる」ことを目指しているそうです。すでに取り組んでいた施策を、今回の新型コロナウイルス感染症対策として前倒して取組が進められています。先日、インターネット環境等調査をさせていただいたのも、これらの政策を受けて二宮町としての取組を進める上での基礎資料とするためです。次の新しい教科書は、「QRコード」どころではなく、デジタル教科書が主流になり、子どもたちの持ち運びの負担が軽くなっているかもしれませんね。



校長のつぶやき



大草心理臨床・教育相談室主宰、学校心理士、臨床心理士などをされている、大草正信氏が執筆された資料を基に、つぶやきます。今回の休校措置により、子どもたちは臨時休校による①「拘禁ストレス(自由疎外反応)」と、②学校再開で生じる「開放ストレス(投げ出され反応)」を感じるため、対応が必要なのだそうです。②は忘れられがちなストレスなのだそうです。ストレスの感じ方には個人差があると思いますが、日常生活の乱れにつながったり、不登校など学校不適應になったりすることがあるようです。どちらも特別なものではなく、そのような状況下では誰もが体験する当たり前のストレスだそうです。これを消そう、無くそうなどしても効果はないそうです。「ストレス解消に運動しよう」と声をかけても、運動する気にならないのがストレス反応です。ストレス反応は、安全を確保してそのまましておくのが基本対応だそうです。周囲にはさせておいてはいけないストレス反応に見えますが、止めるとかえって危ない状態になることがあるようです。そこで、何かあれば安全に保護できる体制でそのまま穏やかに見守るのが基本だそうです。そして、ストレス反応を「今は～するしかない、だから～しよう」と本人が自覚をすると、ストレス反応は「自己対処反応」に変わります。アスリートが辛い苦しい練習を「それをしよう」と自分の意志で行うと、ストレスにならないのと同じだそうです。意志行動は、どんな行動でも、自己対処している実感があるのでストレス障害にならないのだそうです。「今やっていることは自分で『～しよう』と思ってやっているのだから、それでいいよ。『これから～になろう』『これから～できるようになろうね』」と一旦受け止めて、目指す**適応目標**を話すようにすることが大事なのだそうです。「ウチの子に当てはまるから、もう少し話を聞いてみたい」という場合には、どうぞ学校へいらしてください。



(残念ながら大草先生はいません。念のため・・・)

※次回は「分散登校」の様子をお伝えしたいと思います。